



Title	老人保健施設大阪市おとしより健康センター
Author(s)	
Citation	大阪公衆衛生. 1989, 56, p. 14-14
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/83679
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

施設紹介

老人保健施設

大阪市おとしより健康センター



大阪市では「大阪市おとしより健康センター」が、9月16日（土）、中央区にオープンいたしました。

この施設は、元道仁小学校跡地の一部に建てられ、鉄筋コンクリートづくり地上6階、地下1階の建物で、敷地面積1,495㎡、延床面積5,906㎡となっており、リハビリテーション室、水治療室、コミュニケーションのためのゆったりとしたデイルームなどを兼ね備えた施設です。

おとしよりだけでなく家族も

おとしよりが地域社会の中で安心して在宅療養が出来るように医療と生活の両面から支援し、寝たきりにならないために、適切な医療と看護・介護、リハビリテーション、介護方法の相談等を行えるようになっています。

特に、①入所するおとしよりだけでなく、家族も同宿して介護方法の相談・指導を行う。②社会復帰を目指して、個々の症状に応じた

リハビリテーションを行う。③ボランティア、家族等に対して、介護研修を行う。④おとしよりの総合相談室を設置する。などに力をいれた施設であります。

通所、登録医制度

施設の特徴としては通所を中心とした施設で寝たきりにならないよう医療と生活の両面から支援いたします。

また、登録医制度をとっており、「かかりつけの医師」にこのセンターの「登録医」になっていただき、当センターへの入所や通所の紹介・アドバイスさらには退所後もかかりつけの医師による医学管理、往診、訪問看護等のアフターケアの充実を図っていくことを考えております。

その他総合相談室としておとしよりが抱えている保健・医療・福祉・生活環境・いきがい等の広範囲にわたる諸問題について保健婦、福祉職員等の専門家が各種情報サービスを有効適切に提供しながら、その解決に取り組むことも考えております。

対象は原則として70歳以上の老人医療受給者で、病後の機能障害等により、近い将来寝たきりへ移行する可能性の高い人や、入院治療するほどではないが、一定の看護・介護を必要とするおとしよりです。

ふれあいのある地域社会の中で

利用形態は通所（1日100人程度）と入所（50床）の2つに分かれており基本となる利用料は通所1日約1,000円、入所1カ月約50,000円です。必要に応じてはショートステイ的なサービスも考えております。

ますます高齢化が進む中でおとしよりが家族・隣人愛のふれあいのある地域社会の中で安心して在宅療養が出来るよう充実を図って行きたいと考えております。